令和５年度

神奈川県公立高等学校入学者選抜学力検査問題

共通選抜　全日制の課程

Ⅲ　数　　学

注　意　事　項

1　開始の合図があるまで，この問題冊子を開いてはいけません。

2　問題は **問6** まであり，**1** ページから **9** ページに印刷されています。

3　解答用紙の決められた欄に解答しなさい。

4　答えを選んで解答する問題については，選択肢の中から番号を１つ選びなさい。

5　$\boxed{}$ の中の「**あ**」「**い**」「**う**」…にあてはまる数字を解答する問題については，下の**例**のように，あてはまる数字をそれぞれ **0** ～ **9** の中から１つずつ選びなさい。

6　マークシート方式により解答する場合は，選んだ番号の ◯ の中を塗りつぶしなさい。

7　答えに根号が含まれるときは，根号の中は最も小さい自然数にしなさい。

8　答えが分数になるときは，約分できる場合は約分しなさい。

9　計算は，問題冊子のあいているところを使いなさい。

10　終了の合図があったら，すぐに解答をやめなさい。

例　$\dfrac{\boxed{あ}}{\boxed{いう}}$ に $\dfrac{7}{12}$ と解答する場合は，「**あ**」が７，「**い**」が１，「**う**」が２となります。

マークシート方式では，
右の図のように塗りつぶします。

あ	⓪	①	②	③	④	⑤	⑥	●	⑧	⑨
い	⓪	●	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
う	⓪	①	●	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨

受　検　番　号							番

問1　次の計算をした結果として正しいものを，それぞれあとの1～4の中から1つずつ選び，その番号を答えなさい。

(ア)　$-1-(-7)$

1．-8　　2．-6　　3．6　　4．8

(イ)　$-\frac{3}{7}+\frac{1}{2}$

1．$-\frac{13}{14}$　　2．$-\frac{1}{14}$　　3．$\frac{1}{14}$　　4．$\frac{13}{14}$

(ウ)　$12ab^2\times 6a\div(-3b)$

1．$-24a^2b$　　2．$-24ab^2$　　3．$24a^2b$　　4．$24ab^2$

(エ)　$\frac{3x+2y}{7}-\frac{2x-y}{5}$

1．$\frac{x-17y}{35}$　　2．$\frac{x-3y}{35}$　　3．$\frac{x+3y}{35}$　　4．$\frac{x+17y}{35}$

(オ)　$(\sqrt{6}+5)^2-5(\sqrt{6}+5)$

1．$6-5\sqrt{6}$　　2．$6+5\sqrt{6}$　　3．$6+10\sqrt{6}$　　4．$6+15\sqrt{6}$

問2　次の問いに対する答えとして正しいものを，それぞれあとの１～４の中から１つずつ選び，その番号を答えなさい。

(ア)　$(x-5)(x+3)-2x+10$ を因数分解しなさい。

１．$(x-3)(x+3)$　　２．$(x-5)(x+1)$　　３．$(x-5)(x+5)$　　４．$(x+5)(x-1)$

(イ)　２次方程式 $7x^2+2x-1=0$ を解きなさい。

１．$x=\frac{-1\pm2\sqrt{2}}{7}$　　２．$x=\frac{-1\pm4\sqrt{2}}{7}$　　３．$x=\frac{1\pm2\sqrt{2}}{7}$　　４．$x=\frac{1\pm4\sqrt{2}}{7}$

(ウ)　関数 $y=-2x^2$ について，x の値が -3 から -1 まで増加するときの変化の割合を求めなさい。

１．-8　　２．-4　　３．4　　４．8

(エ)　十の位の数が４である３桁の自然数がある。この自然数の，百の位の数と一の位の数の和は10であり，百の位の数と一の位の数を入れかえた数はこの自然数より396大きい。

このとき，この自然数の一の位の数を求めなさい。

１．6　　２．7　　３．8　　４．9

(オ)　$\frac{3780}{n}$ が自然数の平方となるような，最も小さい自然数 n の値を求めなさい。

１．$n=35$　　２．$n=70$　　３．$n=105$　　４．$n=210$

問3　次の問いに答えなさい。

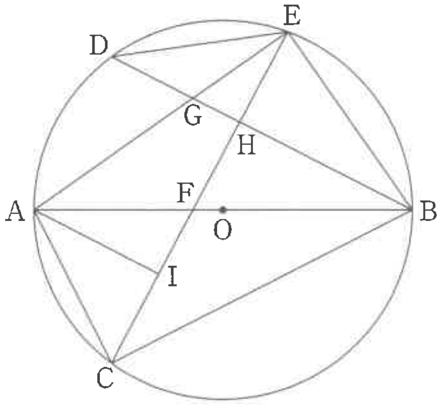
(ア)　右の図1のように，線分ABを直径とする円Oの周上に，2点A，Bとは異なる点Cを，AC＜BCとなるようにとり，点Cを含まない$\overset{\frown}{AB}$上に点Dを，∠ABC＝∠ABDとなるようにとる。

また，点Aを含まない$\overset{\frown}{BD}$上に，2点B，Dとは異なる点Eをとり，線分ABと線分CEとの交点をF，線分AEと線分BDとの交点をG，線分BDと線分CEとの交点をHとする。

さらに，線分CE上に点Iを，DB∥AIとなるようにとる。

このとき，次の(i)，(ii)に答えなさい。

図1



(i)　三角形AIFと三角形EHGが相似であることを次のように証明した。［(a)］～［(c)］に最も適するものを，それぞれ選択肢の**1**～**4**の中から1つずつ選び，その番号を答えなさい。

［証明］

△AIFと△EHGにおいて，

まず，DB∥AIより，平行線の同位角は等しいから，

［(a)］

よって，∠AIF＝∠EHG　……①

次に，仮定より，

∠ABC＝∠ABD　……②

また，$\overset{\frown}{AC}$に対する円周角は等しいから，

∠ABC＝∠AEC　……③

さらに，DB∥AIより，平行線の錯角は等しいから，

［(b)］　……④

②，③，④より，∠AEC＝∠BAI

よって，∠FAI＝∠GEH　……⑤

①，⑤より，［(c)］から，

△AIF∽△EHG

(a)，(b)の選択肢

1.　∠ABD＝∠BAI
2.　∠AIE＝∠BHC
3.　∠AIE＝∠DHE
4.　∠EAI＝∠EGB

(c)の選択肢

1.　1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しい
2.　2組の辺の比とその間の角がそれぞれ等しい
3.　3組の辺の比がすべて等しい
4.　2組の角がそれぞれ等しい

(ii)　次の［　］の中の「**あ**」「**い**」にあてはまる数字をそれぞれ**0**～**9**の中から1つずつ選び，その数字を答えなさい。

∠BDE＝35°，∠DBE＝28°のとき，∠CAIの大きさは［**あい**］°である。

(イ) ある中学校で１学年から３学年まであわせて10クラスの生徒が集まり生徒総会を開催した。生徒総会では生徒会から３つの議案X，Y，Zが提出され，それぞれの議案について採決を行った。

右の資料１は議案Xに賛成した人数を，資料２は議案Yに賛成した人数を，それぞれクラスごとに記録したものである。資料３は議案Zに賛成した人数をクラスごとに記録し，その記録の平均値，中央値，四分位範囲をまとめたものである。

このとき，次の(i)，(ii)に答えなさい。

資料１　　　　（単位：人）

19	21	13	17	25
24	17	17	23	14

資料２　　　　（単位：人）

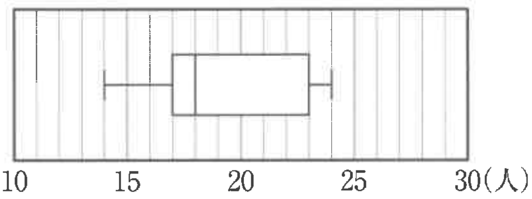
20	26	19	27	25
24	20	15	24	20

資料３　　（単位：人）

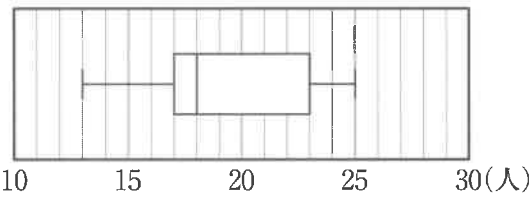
平均値	23
中央値	21
四分位範囲	6

(i) 資料１の記録を箱ひげ図に表したものとして最も適するものを次の１～４の中から１つ選び，その番号を答えなさい。

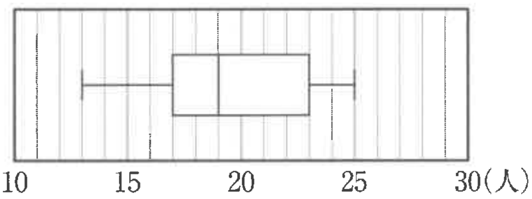
1.



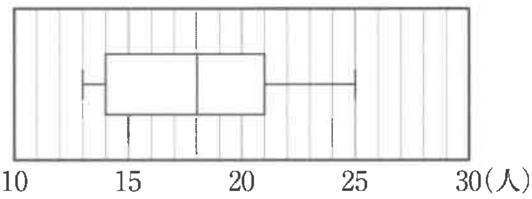
2.



3.



4.



(ii) 資料２と資料３から読み取れることがらを，次のＡ～Ｄの中からすべて選んだときの組み合わせとして最も適するものをあとの１～６の中から１つ選び，その番号を答えなさい。

Ａ． 議案Ｙに賛成した人数の最頻値は20人である。
Ｂ． 賛成した人数の合計は，議案Ｚより議案Ｙの方が多い。
Ｃ． 賛成した人数の中央値は，議案Ｚより議案Ｙの方が大きい。
Ｄ． 賛成した人数の四分位範囲は，議案Ｚより議案Ｙの方が小さい。

1. Ａ，Ｂ　　**2.** Ａ，Ｃ　　**3.** Ｂ，Ｄ
4. Ｃ，Ｄ　　**5.** Ａ，Ｂ，Ｃ　　**6.** Ａ，Ｃ，Ｄ

(ウ) 学校から駅までの道のりは2400mであり，その途中にかもめ図書館といちょう図書館がある。Aさんと B さんは 16 時に学校を出発し，それぞれが図書館に立ち寄ってから駅まで移動する中で一度すれ違ったが，駅には同時に到着した。

Aさんは，かもめ図書館に5分間立ち寄って本を借り，駅まで移動した。Bさんは，いちょう図書館に15分間立ち寄って借りたい本を探したが見つからなかったため道を引き返し，かもめ図書館に5分間立ち寄って本を借り，駅まで移動した。

次の図2は，学校，かもめ図書館，いちょう図書館，駅の間の道のりを示したものである。図3は，16時に学校を出発してから x 分後の，学校からの道のりを y m として，Aさんが駅に到着するまでの x と y の関係をグラフに表したものであり，Oは原点である。

このとき，AさんとBさんがすれ違った時間帯として最も適するものをあとの1～6の中から1つ選び，その番号を答えなさい。ただし，AさんとBさんの，それぞれの移動中の速さは常に一定であり，図書館での移動は考えないものとする。

図2

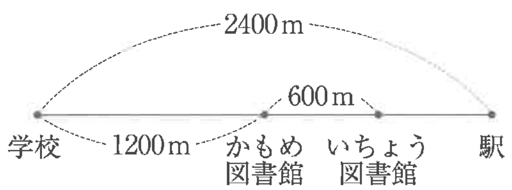
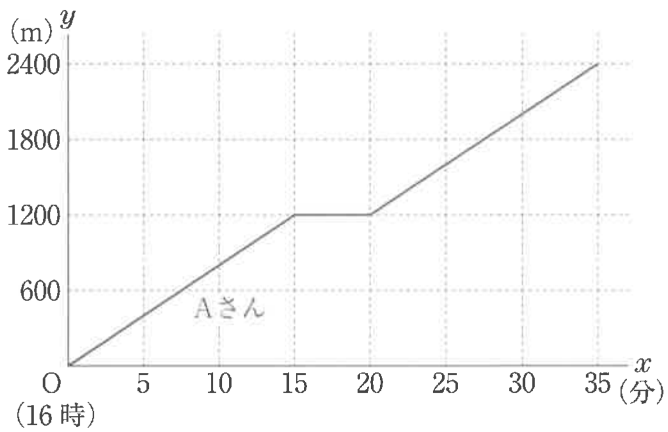


図3



1. 16時19分から16時21分までの間
2. 16時21分から16時23分までの間
3. 16時23分から16時25分までの間
4. 16時25分から16時27分までの間
5. 16時27分から16時29分までの間
6. 16時29分から16時31分までの間

(エ) 次の $\boxed{}$ の中の「**う**」「**え**」にあてはまる数字をそれぞれ**0**～**9**の中から1つずつ選び，その数字を答えなさい。

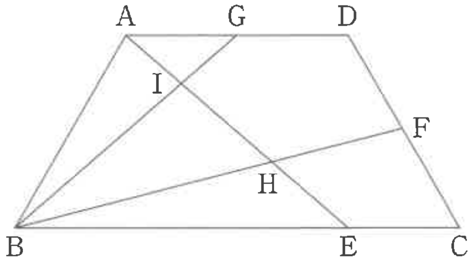
右の図4において，四角形ABCDはAB＝CD＝DA，AB：BC＝1：2の台形である。

また，点Eは辺BC上の点でBE：EC＝3：1であり，2点F，Gはそれぞれ辺CD，DAの中点である。

さらに，線分AEと線分BFとの交点をH，線分AEと線分BGとの交点をIとする。

三角形BHIの面積をS，四角形CFHEの面積をTとするとき，SとTの比を**最も簡単な整数の比**で表すと，S：T＝ $\boxed{う}$ ： $\boxed{え}$ である。

図4



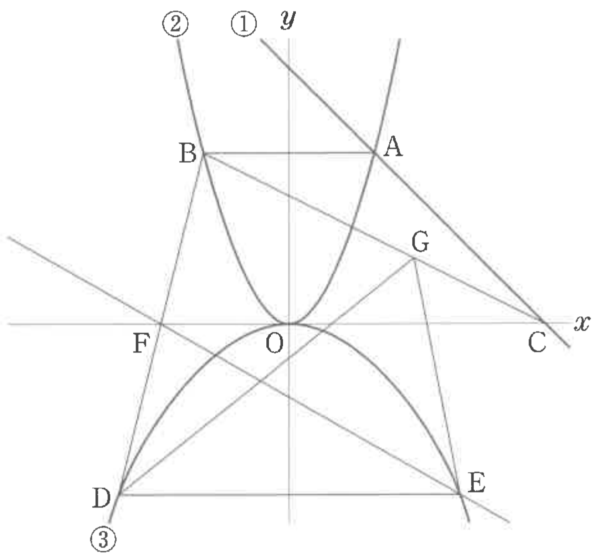
問4 右の図において，直線①は関数 $y=-x+9$ のグラフであり，曲線②は関数 $y=ax^2$ のグラフ，曲線③は関数 $y=-\frac{1}{6}x^2$ のグラフである。

点Aは直線①と曲線②との交点で，その x 座標は3である。点Bは曲線②上の点で，線分ABは x 軸に平行である。点Cは直線①と x 軸との交点である。

また，2点D，Eは曲線③上の点で，点Dの x 座標は -6 であり，線分DEは x 軸に平行である。

さらに，点Fは線分BDと x 軸との交点である。

原点をOとするとき，次の問いに答えなさい。



(ア) 曲線②の式 $y=ax^2$ の a の値として正しいものを次の **1**～**6** の中から1つ選び，その番号を答えなさい。

1. $a=\frac{1}{4}$　　**2**. $a=\frac{1}{3}$　　**3**. $a=\frac{2}{5}$

4. $a=\frac{1}{2}$　　**5**. $a=\frac{2}{3}$　　**6**. $a=\frac{3}{4}$

(イ) 直線EFの式を $y=mx+n$ とするときの(i) m の値と，(ii) n の値として正しいものを，それぞれ次の **1**～**6** の中から1つずつ選び，その番号を答えなさい。

(i) m の値

1. $m=-\frac{5}{6}$　　**2**. $m=-\frac{5}{7}$　　**3**. $m=-\frac{2}{3}$

4. $m=-\frac{4}{7}$　　**5**. $m=-\frac{1}{3}$　　**6**. $m=-\frac{1}{6}$

(ii) n の値

1. $n=-\frac{18}{7}$　　**2**. $n=-\frac{5}{2}$　　**3**. $n=-\frac{7}{3}$

4. $n=-\frac{13}{6}$　　**5**. $n=-\frac{15}{7}$　　**6**. $n=-2$

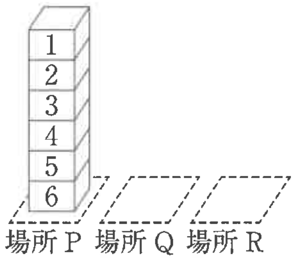
(ウ) 次の $\boxed{}$ の中の「**お**」「**か**」「**き**」「**く**」にあてはまる数字をそれぞれ **0**～**9** の中から1つずつ選び，その数字を答えなさい。

線分BC上に点Gを，三角形BDGと三角形DEGの面積が等しくなるようにとる。このときの，点Gの x 座標は $\dfrac{\boxed{\text{おか}}}{\boxed{\text{きく}}}$ である。

問5 右の図1のように，場所P，場所Q，場所Rがあり，場所Pには，1，2，3，4，5，6の数が1つずつ書かれた6個の直方体のブロックが，書かれた数の大きいものから順に，下から上に向かって積まれている。

大，小2つのさいころを同時に1回投げ，大きいさいころの出た目の数をa，小さいさいころの出た目の数をbとする。出た目の数によって，次の【操作1】，【操作2】を順に行い，場所P，場所Q，場所Rの3か所にあるブロックの個数について考える。

図1



【操作1】 aと同じ数の書かれたブロックと，その上に積まれているすべてのブロックを，順番を変えずに場所Qへ移動する。

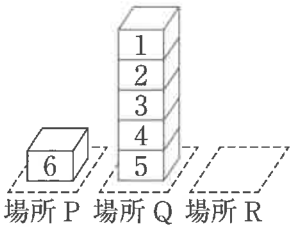
【操作2】 bと同じ数の書かれたブロックと，その上に積まれているすべてのブロックを，bと同じ数の書かれたブロックが場所P，場所Qのどちらにある場合も，場所Rへ移動する。

例

大きいさいころの出た目の数が5，小さいさいころの出た目の数が1のとき，$a=5$，$b=1$だから，

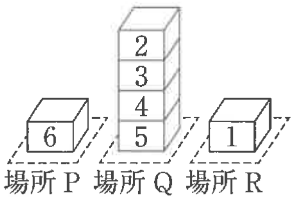
【操作1】 図1の，5が書かれたブロックと，その上に積まれているすべてのブロックを，順番を変えずに場所Qへ移動するので，図2のようになる。

図2



【操作2】 図2の，1が書かれたブロックを，場所Rへ移動するので，図3のようになる。

図3



この結果，3か所にあるブロックの個数は，場所Pに1個，場所Qに4個，場所Rに1個となる。

いま，図1の状態で，大，小2つのさいころを同時に1回投げるとき，次の問いに答えなさい。ただし，大，小2つのさいころはともに，1から6までのどの目が出ることも同様に確からしいものとする。

(ア) 次の$\boxed{}$の中の「け」「こ」「さ」にあてはまる数字をそれぞれ0～9の中から1つずつ選び，その数字を答えなさい。

ブロックの個数が3か所とも同じになる確率は$\dfrac{\boxed{\text{け}}}{\boxed{\text{こさ}}}$である。

(イ) 次の$\boxed{}$の中の「し」「す」にあてはまる数字をそれぞれ0～9の中から1つずつ選び，その数字を答えなさい。

3か所のうち，少なくとも1か所のブロックの個数が0個になる確率は$\dfrac{\boxed{\text{し}}}{\boxed{\text{す}}}$である。

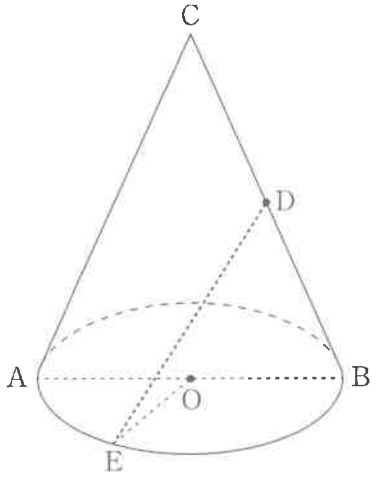
問6　右の図1は，線分ABを直径とする円Oを底面とし，線分ACを母線とする円すいである。

　また，点Dは線分BCの中点である。

　さらに，点Eは円Oの周上の点である。

　AB＝8cm，AC＝10cm，∠AOE＝60°のとき，次の問いに答えなさい。ただし，円周率はπとする。

図1



(ア)　この円すいの表面積として正しいものを次の**1**～**6**の中から1つ選び，その番号を答えなさい。

1．24π cm^2　　**2**．28π cm^2
3．40π cm^2　　**4**．48π cm^2
5．56π cm^2　　**6**．84π cm^2

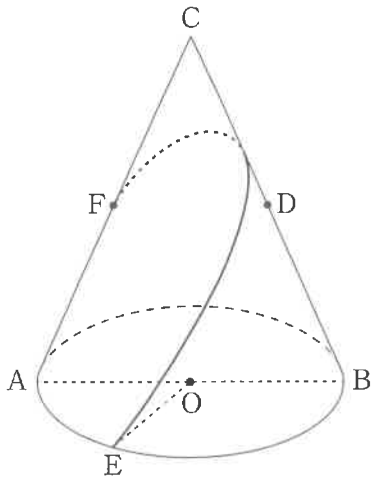
(イ)　この円すいにおいて，2点D，E間の距離として正しいものを次の**1**～**6**の中から1つ選び，その番号を答えなさい。

1．$\sqrt{43}$ cm　　**2**．7cm
3．$5\sqrt{2}$ cm　　**4**．$\sqrt{57}$ cm
5．$3\sqrt{7}$ cm　　**6**．8cm

(ウ)　次の$\boxed{}$の中の「せ」「そ」にあてはまる数字をそれぞれ**0**～**9**の中から1つずつ選び，その数字を答えなさい。

　点Fが線分ACの中点であるとき，この円すいの側面上に，図2のように点Eから線分BCと交わるように，点Fまで線を引く。このような線のうち，長さが最も短くなるように引いた線の長さは$\boxed{せ}\sqrt{\boxed{そ}}$ cmである。

図2



(問題は，これで終わりです。)

Ⅲ　数　学　正答表　（令和５年度）

問１	(ア)	3	３点
	(イ)	3	３点
	(ウ)	1	３点
	(エ)	4	３点
	(オ)	2	３点

問２	(ア)	2	４点
	(イ)	1	４点
	(ウ)	4	４点
	(エ)	2	４点
	(オ)	3	４点

問３	(ア)	(i)	(a)	3	両方できて３点
			(b)	1	
			(c)	4	２点
		(ii) $\boxed{あい}$		36°	４点
	(イ)	(i)		2	２点
		(ii)		6	３点
	(ウ)			3	５点
	(エ) $\boxed{う}:\boxed{え}$			5：4	６点

問４	(ア)		5	４点
	(イ)	(i)	4	両方できて５点
		(ii)	1	
	(ウ) $\frac{\boxed{おか}}{\boxed{きく}}$		$\frac{57}{13}$	６点

問５	(ア) $\frac{\boxed{け}}{\boxed{こさ}}$	$\frac{1}{18}$	５点
	(イ) $\frac{\boxed{し}}{\boxed{す}}$	$\frac{4}{9}$	５点

問６	(ア)	5	４点
	(イ)	2	５点
	(ウ) $\boxed{せ}\sqrt{\boxed{そ}}$	$5\sqrt{7}$　cm	６点

追検査

令和５年度

神奈川県公立高等学校入学者選抜学力検査問題

共通選抜　全日制の課程（追検査）

Ⅲ　数　　学

S
数

注　意　事　項

1　開始の合図があるまで，この問題冊子を開いてはいけません。

2　問題は **問６** までであり，**1** ページから **8** ページに印刷されています。

3　解答用紙の決められた欄に解答しなさい。

4　答えを選んで解答する問題については，選択肢の中から番号を１つ選びなさい。

5　$\boxed{}$ の中の「**あ**」「**い**」「**う**」…にあてはまる数字を解答する問題については，下の**例**のように，あてはまる数字をそれぞれ **0** ～ **9** の中から１つずつ選びなさい。

6　マークシート方式により解答する場合は，選んだ番号の ◯ の中を塗りつぶしなさい。

7　答えに根号が含まれるときは，根号の中は最も小さい自然数にしなさい。

8　答えが分数になるときは，約分できる場合は約分しなさい。

9　計算は，問題冊子のあいているところを使いなさい。

10　終了の合図があったら，すぐに解答をやめなさい。

例　$\dfrac{\boxed{あ}}{\boxed{いう}}$ に $\dfrac{7}{12}$ と解答する場合は，「**あ**」が７，「**い**」が１，「**う**」が２となります。

マークシート方式では，
右の図のように塗りつぶします。

あ	⓪	①	②	③	④	⑤	⑥	●	⑧	⑨
い	⓪	●	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
う	⓪	①	●	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨

受　検　番　号								番

問1　次の計算をした結果として正しいものを，それぞれあとの**1**～**4**の中から1つずつ選び，その番号を答えなさい。

(ア)　$-11+(-5)$

1．-16　　**2**．-6　　**3**．6　　**4**．16

(イ)　$\dfrac{1}{5}-\dfrac{9}{10}$

1．$-\dfrac{11}{10}$　　**2**．$-\dfrac{7}{10}$　　**3**．$\dfrac{7}{10}$　　**4**．$\dfrac{11}{10}$

(ウ)　$\dfrac{5x-y}{6}-\dfrac{3x-4y}{8}$

1．$\dfrac{-11x+8y}{24}$　　**2**．$\dfrac{11x-16y}{24}$　　**3**．$\dfrac{11x-8y}{24}$　　**4**．$\dfrac{11x+8y}{24}$

(エ)　$\dfrac{25}{\sqrt{10}}-\sqrt{40}+\dfrac{\sqrt{5}}{\sqrt{2}}$

1．$\sqrt{5}$　　**2**．$\sqrt{10}$　　**3**．$2\sqrt{5}$　　**4**．$2\sqrt{10}$

(オ)　$(x+9)(x-6)-(x-4)^2$

1．$5x-70$　　**2**．$5x-38$　　**3**．$11x-70$　　**4**．$11x-38$

問2　次の問いに対する答えとして正しいものを，それぞれあとの1～4の中から1つずつ選び，その番号を答えなさい。

(ア)　連立方程式 $\begin{cases} 5x+8y=-2 \\ \dfrac{1}{3}x+\dfrac{3}{4}y=-1 \end{cases}$ を解きなさい。

1．$x=-6,\ y=4$　　2．$x=-2,\ y=1$
3．$x=2,\ y=-1$　　4．$x=6,\ y=-4$

(イ)　2次方程式 $2x^2-8x+1=0$ を解きなさい。

1．$x=\dfrac{-4\pm\sqrt{14}}{2}$　　2．$x=\dfrac{-4\pm\sqrt{14}}{4}$　　3．$x=\dfrac{4\pm\sqrt{14}}{4}$　　4．$x=\dfrac{4\pm\sqrt{14}}{2}$

(ウ)　x の値が1から3まで増加するとき，2つの関数 $y=ax^2$ と $y=-6x$ の変化の割合が等しくなるような a の値を求めなさい。

1．$a=-\dfrac{3}{2}$　　2．$a=-\dfrac{3}{4}$　　3．$a=\dfrac{3}{4}$　　4．$a=\dfrac{3}{2}$

(エ)　5％の食塩水350gに，15％の食塩水を加えて8％の食塩水をつくった。
このとき，加えた食塩水の量を求めなさい。

1．125g　　2．150g　　3．175g　　4．200g

(オ)　$\sqrt{61-4n}$ が整数となるような正の整数 n の個数を求めなさい。

1．2個　　2．3個　　3．4個　　4．5個

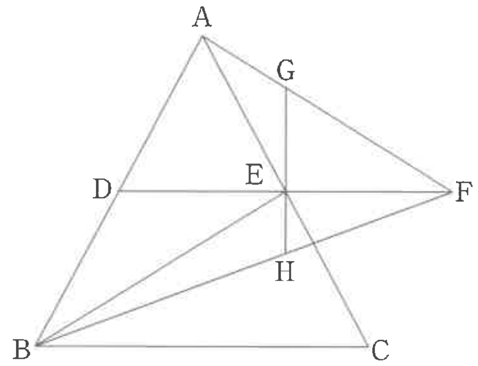
問3　次の問いに答えなさい。

(ア)　右の図1のように，AB＝ACの二等辺三角形ABCがあり，辺AB，ACの中点をそれぞれD，Eとする。

また，線分DEの延長上に点Fを，∠ABE＝∠CAFとなるようにとる。

このとき，次の(i)，(ii)に答えなさい。

図1



(i)　三角形AEFと三角形BDEが合同であることを次のように証明した。 (a) ， (b) に最も適するものを，それぞれ選択肢の**1**～**4**の中から1つずつ選び，その番号を答えなさい。

［証明］

△AEFと△BDEにおいて，

まず，仮定より，

∠ABE＝∠CAF

よって，∠EAF＝∠DBE　……①

次に，仮定より，AB＝ACであり，2点D，Eはそれぞれ辺AB，ACの中点であるから，

AD＝DB　……②

AD＝AE　……③

②，③より，DB＝AE　……④

さらに，③より，△ADEは二等辺三角形であり，その2つの底角は等しいから，

(a)　……⑤

また，△ADEの外角は，それととなり合わない2つの内角の和に等しいから，

∠AEF＝∠ADE＋∠DAE　……⑥

∠BDE＝∠AED＋∠DAE　……⑦

⑤，⑥，⑦より，∠AEF＝∠BDE　……⑧

①，④，⑧より， (b) から，

△AEF≡△BDE

(a)の選択肢

1.　∠ABC＝∠ADE

2.　∠ACB＝∠AED

3.　∠ADE＝∠AED

4.　∠AED＝∠CEF

(b)の選択肢

1.　1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しい

2.　2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい

3.　3組の辺がそれぞれ等しい

4.　2組の角がそれぞれ等しい

(ii)　線分AF上に点Gを，DF⊥GEとなるようにとり，線分BFと線分GEの延長との交点をHとする。線分GEと線分EHの長さの比を**最も簡単な整数の比**で表したものとして正しいものを次の**1**～**6**の中から1つ選び，その番号を答えなさい。

1.　2：1　　**2.**　3：2　　**3.**　5：3

4.　8：5　　**5.**　13：8　　**6.**　16：9

(イ) 次の$\boxed{}$の中の「あ」「い」にあてはまる数字をそれぞれ0～9の中から1つずつ選び，その数字を答えなさい。

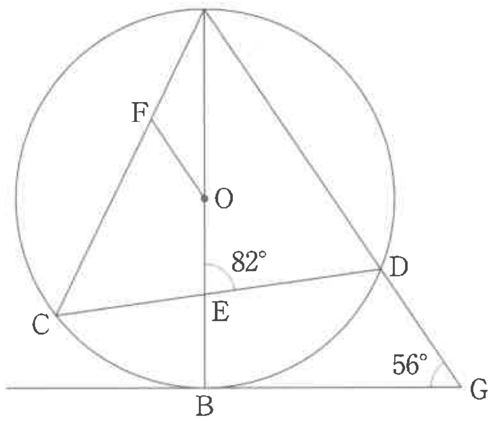
右の図2において，線分ABは円Oの直径であり，2点C，Dは円Oの周上の点である。

また，点Eは線分ABと線分CDとの交点であり，点Fは線分AC上の点で，AD//FOである。

さらに，点Gは点Bを通る円Oの接線と線分ADの延長との交点である。

このとき，∠OFC＝$\boxed{あい}$°である。

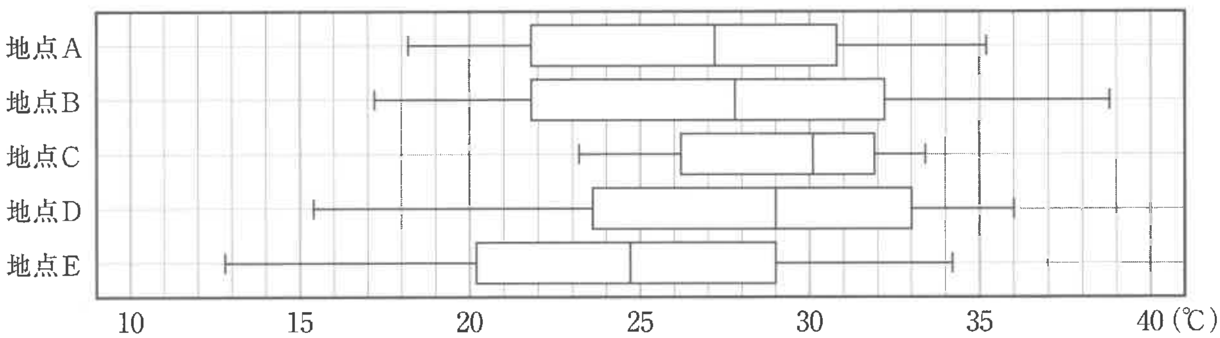
図2



(ウ) 次の図3は，5つの地点A～Eにおける，月ごとの最高気温を，それぞれ12か月分記録し箱ひげ図に表したものである。

この図から読み取れることがらを，あとのⅠ～Ⅴの中からすべて選んだときの組み合わせとして最も適するものを1～8の中から1つ選び，その番号を答えなさい。

図3



Ⅰ．地点Aにおける最高気温が20℃以上の月は，9か月以上ある。

Ⅱ．最高気温が30℃以上35℃以下の月は，地点Bより地点Cの方が多い。

Ⅲ．最高気温の四分位範囲は，地点Dより地点Eの方が大きい。

Ⅳ．最高気温が30℃以上の月は，どの地点にもある。

Ⅴ．最高気温が25℃以上の月は，どの地点にも7か月以上ある。

1．Ⅰ，Ⅳ　　2．Ⅱ，Ⅳ　　3．Ⅲ，Ⅴ　　4．Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ

5．Ⅰ，Ⅱ，Ⅳ　　6．Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ　　7．Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ　　8．Ⅰ，Ⅱ，Ⅳ，Ⅴ

(エ) 次の $\boxed{}$ の中の「う」「え」「お」にあてはまる数字をそれぞれ0～9の中から1つずつ選び，その数字を答えなさい。

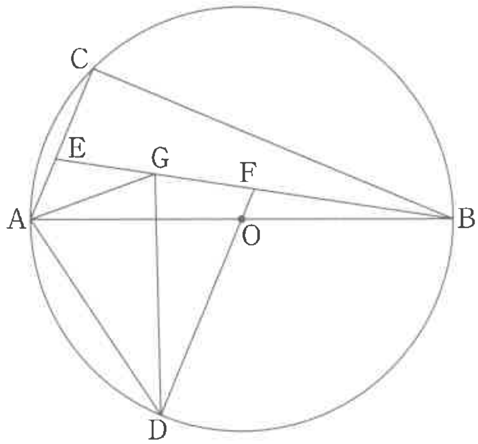
右の図4において，線分ABは円Oの直径であり，2点C，Dは円Oの周上の点で，AC∥DOである。

また，点Eは線分AC上の点で，AE：EC＝2：3である。

さらに，点Fは線分BEと線分DOの延長との交点であり，点Gは線分EFの中点である。

AB＝13 cm，BC＝12 cmのとき，三角形ADGの面積は $\dfrac{\boxed{うえ}}{\boxed{お}}$ cm^2 である。

図4



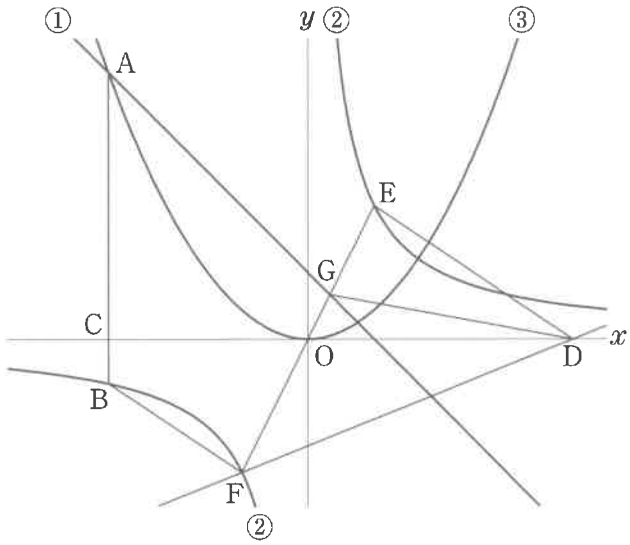
問4　右の図において，直線①は関数 $y=-x+2$ のグラフであり，曲線②は関数 $y=\dfrac{8}{x}$ のグラフ，曲線③は関数 $y=ax^2$ のグラフである。

点Aは直線①と曲線③との交点で，その x 座標は -6 である。点Bは曲線②上の点で，線分ABは y 軸に平行である。点Cは線分ABと x 軸との交点である。

また，原点をOとするとき，点Dは x 軸上の点で，CO：OD＝3：4であり，その x 座標は正である。

さらに，点Eは曲線②上の点で，その x 座標は2である。点Fは点Eと原点Oについて対称な点である。

このとき，次の問いに答えなさい。



(ア)　曲線③の式 $y=ax^2$ の a の値として正しいものを次の **1**～**6** の中から1つ選び，その番号を答えなさい。

1．$a=\dfrac{1}{9}$　　**2**．$a=\dfrac{2}{9}$　　**3**．$a=\dfrac{1}{3}$

4．$a=\dfrac{4}{9}$　　**5**．$a=\dfrac{5}{9}$　　**6**．$a=\dfrac{2}{3}$

(イ)　直線DFの式を $y=mx+n$ とするときの(i) m の値と，(ii) n の値として正しいものを，それぞれ次の **1**～**6** の中から1つずつ選び，その番号を答えなさい。

(i)　m の値

1．$m=\dfrac{1}{3}$　　**2**．$m=\dfrac{2}{5}$　　**3**．$m=\dfrac{1}{2}$

4．$m=\dfrac{3}{5}$　　**5**．$m=\dfrac{2}{3}$　　**6**．$m=\dfrac{3}{4}$

(ii)　n の値

1．$n=-\dfrac{16}{5}$　　**2**．$n=-3$　　**3**．$n=-\dfrac{14}{5}$

4．$n=-\dfrac{8}{3}$　　**5**．$n=-\dfrac{12}{5}$　　**6**．$n=-\dfrac{5}{3}$

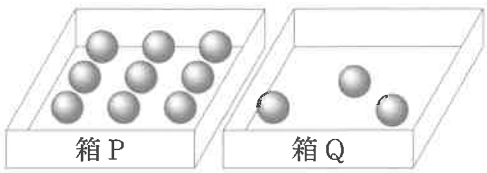
(ウ)　次の $\boxed{}$ の中の「**か**」「**き**」「**く**」にあてはまる数字をそれぞれ **0**～**9** の中から1つずつ選び，その数字を答えなさい。

直線①と線分EFとの交点をGとする。四角形ABFGの面積をS，三角形DEGの面積をTとするとき，SとTの比を**最も簡単な整数の比**で表すと，S：T＝$\boxed{\text{かき}}$：$\boxed{\text{く}}$ である。

問5　右の図1のように，2つの箱P，Qがあり，これらの箱には同じ大きさの玉が箱Pに9個，箱Qに3個入っている。

大，小2つのさいころを同時に1回投げ，大きいさいころの出た目の数をa，小さいさいころの出た目の数をbとする。出た目の数によって，次の【操作1】，【操作2】を順に行い，それぞれの箱に入っている玉の個数について考える。

図1



【操作1】　箱Pから玉をa個取り出し，箱Qに入れる。

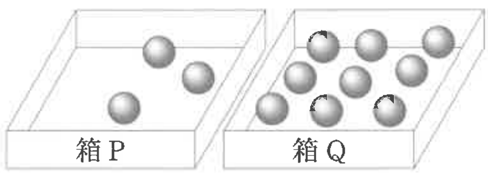
【操作2】　2つの箱P，Qのうち，入っている玉の個数が多い方の箱から玉をb個取り出し，もう一方の箱に入れる。ただし，2つの箱に入っている玉の個数が等しい場合は，箱Pから玉をb個取り出し，箱Qに入れる。

例

大きいさいころの出た目の数が6，小さいさいころの出た目の数が2のとき，$a=6$，$b=2$だから，

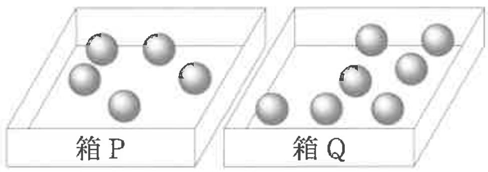
【操作1】　図1の，箱Pから玉を6個取り出し，箱Qに入れるので，図2のようになる。

図2



【操作2】　図2の，2つの箱P，Qのうち，入っている玉の個数が多い箱Qから玉を2個取り出し，箱Pに入れるので，図3のようになる。

図3



この結果，箱Pに入っている玉の個数は5個，箱Qに入っている玉の個数は7個となる。

いま，図1の状態で，大，小2つのさいころを同時に1回投げるとき，次の問いに答えなさい。ただし，大，小2つのさいころはともに，1から6までのどの目が出ることも同様に確からしいものとする。

(ア)　次の$\boxed{\quad}$の中の「け」「こ」「さ」にあてはまる数字をそれぞれ**0**～**9**の中から1つずつ選び，その数字を答えなさい。

箱Pに玉が入っていない確率は$\dfrac{\boxed{\text{け}}}{\boxed{\text{こさ}}}$である。

(イ)　次の$\boxed{\quad}$の中の「し」「す」「せ」「そ」にあてはまる数字をそれぞれ**0**～**9**の中から1つずつ選び，その数字を答えなさい。

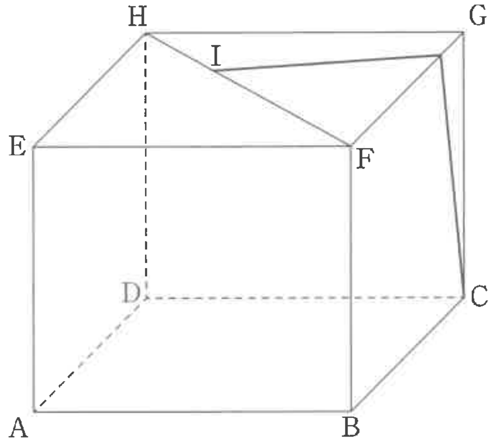
箱Pに入っている玉の個数が箱Qに入っている玉の個数より多くなる確率は$\dfrac{\boxed{\text{しす}}}{\boxed{\text{せそ}}}$である。

問6　右の図１は，１辺の長さが６cmの正方形ABCDを底面とし，AE＝BF＝CG＝DH＝５cmを高さとする四角柱である。

また，点Ｉは線分FH上の点で，FI：IH＝２：１である。

このとき，次の問いに答えなさい。

図１



(ア)　この四角柱の表面積として正しいものを次の**1**～**6**の中から１つ選び，その番号を答えなさい。

1.　$120\,\mathrm{cm}^2$　　**2.**　$156\,\mathrm{cm}^2$

3.　$180\,\mathrm{cm}^2$　　**4.**　$192\,\mathrm{cm}^2$

5.　$200\,\mathrm{cm}^2$　　**6.**　$216\,\mathrm{cm}^2$

(イ)　この四角柱の表面上に，図１のように点Cから辺FGと交わるように，点Ｉまで線を引く。このような線のうち，長さが最も短くなるように引いた線の長さとして正しいものを次の**1**～**6**の中から１つ選び，その番号を答えなさい。

1.　$\dfrac{\sqrt{97}}{2}\,\mathrm{cm}$　　**2.**　$\dfrac{5\sqrt{5}}{2}\,\mathrm{cm}$

3.　$\sqrt{85}\,\mathrm{cm}$　　**4.**　$\sqrt{97}\,\mathrm{cm}$

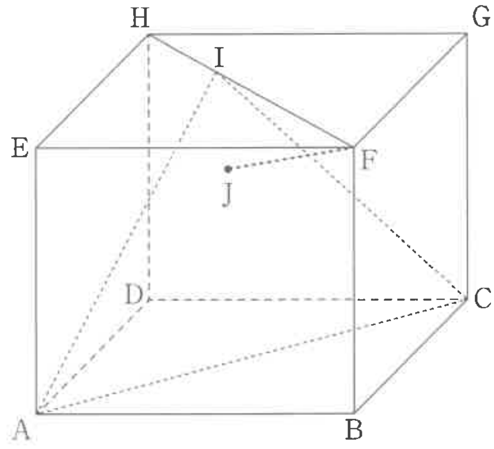
5.　$5\sqrt{5}\,\mathrm{cm}$　　**6.**　$2\sqrt{85}\,\mathrm{cm}$

(ウ)　次の$\boxed{}$の中の「**た**」「**ち**」「**つ**」「**て**」にあてはまる数字をそれぞれ**0**～**9**の中から１つずつ選び，その数字を答えなさい。

この四角柱において，図２のように，点Fから３点A，C，Ｉを通る平面に引いた垂線と，３点A，C，Ｉを通る平面との交点をＪとするとき，線分FJの長さは

$\dfrac{\boxed{たち}\sqrt{\boxed{つ}}}{\boxed{て}}$ cmである。

図２



(問題は，これで終わりです。)

Ⅲ　数　学　正答表 追検査（令和５年度）

問１	(ア)	1	3点
	(イ)	2	3点
	(ウ)	4	3点
	(エ)	2	3点
	(オ)	3	3点

問２	(ア)	4	4点
	(イ)	4	4点
	(ウ)	1	4点
	(エ)	2	4点
	(オ)	3	4点

問３	(ア)	(i)	(a)	3	2点
			(b)	1	2点
		(ii)		3	5点
	(イ) $\boxed{あい}$			60°	5点
	(ウ)			5	5点
	(エ) $\frac{\boxed{うえ}}{\boxed{お}}$			$\frac{57}{4}$ cm²	6点

問４	(ア)		2	4点
	(イ)	(i)	2	両方できて５点
		(ii)	1	
	(ウ) $\boxed{かき}:\boxed{く}$		17：4	6点

問５	(ア) $\frac{\boxed{け}}{\boxed{こさ}}$	$\frac{1}{36}$	5点
	(イ) $\frac{\boxed{しす}}{\boxed{せそ}}$	$\frac{13}{36}$	5点

問６	(ア)	4	4点
	(イ)	3	5点
	(ウ) $\frac{\boxed{たち}\sqrt{\boxed{つ}}}{\boxed{て}}$	$\frac{20\sqrt{6}}{9}$ cm	6点